

平成28年度長野県支部の定期総会・講演会について

毎年恒例の長野県支部定期総会並びに講習会が、平成28年7月24日（日）本州のへそにあたる松本市の美ヶ原温泉「ホテル翔峰」で開催されました。当日はご多忙中にもかかわらず、大学から浅利昌男学長、本部同窓会から福山守会長にご臨席を賜りました。総会は会員34名出席のもと、中村和夫支部長（S40年卒業）のご挨拶に続き、ご来賓の浅利学長からはご挨拶を兼ねて大学の近況についてお話をいただきました。太田俊明（S55年卒業）議長のスムーズな進行により、上程の議案は全て満場一致で承認されました。

講演会は、衆議院議員でもある福山同窓会長から、「今、注視する国策～地球温暖化・TPP～」と題して、この場でしか聞けないような裏話も含めてご講演をいただきました。それぞれの課題にかかわる日本国の立ち位置など興味深いお話で、会員からのここぞとばかりの質問に対しても、福山会長から一つ一つご丁寧に受け答えを頂きました。

総会、講習会終了後は80畳の大広間で懇親会が開催され、お酒が進むにつれいくつもの車座ができ同年代で昔話に花が咲き、時間が過ぎるのを忘れるほどの盛り上がりでした。

時間が経過すると会員から自然に「校歌斉唱」の声上がり、校歌そして寮歌を全員が起立して大声で歌い上げ、最後は応援団OBの音頭により「フレイフレイ麻布」でお開きとなりました。その後は当然の成り行きでホテル宿泊の会員を中心に浅利学長、福山会長を囲んで二次会に移行し、カラオケ大会でまた盛り上がり、参加者全員が思い出に残る楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

最後に、浅利学長、福山会長におかれましては、本当にお忙しい中、本県会員のために遠方から駆けつけて頂き、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

長野県支部事務局 平沢久史（S50年卒業）

